

一般質問 市政に望む

今回の定例会では、12月3日、4日、5日、6日、9日の5日間にわたり、28名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをたしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の様子はホームページで録画映像を配信中。



小三へも少人数の継続を

佐々木智子（日本共産党）

問 小学二年生まで拡大した少人数学級を小三に進級しても継続すべきかどうか。

学校教育部長 今後も公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律及び東京都の学級編制基準に沿って対応していきます。

問 待機者が多い特別養護老人ホームや、認知症対応の小規模多機能型居宅介護施設の整備計画はどうか。

いきいき健康部長 特別養護老人ホームは一四年度中に一一五床の増床を予定、今年度内に六五床分の事業者再公募を行い一六年度中に開設予定です。小規模多機能型居宅介護は一四年度末までに四施設の整備を目標としています。

問 土砂災害防止法の特別警戒区域に指定されると、どのような行政支援があるのか。防災安全担当部長 現在、支援する制度はありません。



南町田駅周辺の街づくりを求め

おさむら敏明（自由民主党）

問 文化交流センターにて市が主催する、ハイレベルな文化展の開催を提案要望する。有金副市長 ハイレベルな文化活動を市民に提供する場として、市主催の文化祭として町田市文化交流センターを利用することについて今後検討させていただきます。

問 スポーツ施設整備、野津田公園二次整備計画に寄せられた意見を反映し、スポー

ツに親しめる環境整備を。有金副市長 四八〇件のご意見をいただいたところで、第二次野津田公園整備基本計画懇談会に報告して計画策定の参考とさせていただきます。

問 南町田駅周辺は業務集積の立地条件を満たしている。駅周辺の一層の整備を求める。都市づくり部長 南町田周辺地区整備計画検討会という組織がありそういった組織も活用しながら考えていきたい。

都市づくり部長 南町田周辺地区整備計画検討会という組織がありそういった組織も活用しながら考えていきたい。



忠生三三号線早期歩道設置を！

若林章喜（自由民主党）

問 上山崎入り口から最も危険な区域の早期拡幅と歩道設置をするべきかどうか。

建設部長 一六〇メートル分は用地取得を進めており、来年度も進めていく計画です。再来年度、歩道を両側に設置する工事に着手していきたい。

問 ニ〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックに向け、対策本部を立上げ、合宿誘致に取組むべきかどうか。

有金副市長 関係部長で構成する対策本部を年内に設置したいと考えています。

スポーツ担当部長 対策本部の中で大きな大会を誘致する視点で検討していきたい。認知症の早期診断、早期対応に積極的に取り組むべきかどうか。

いきいき健康部長 認知症の初期集中支援チームを設置して、認知症の早期診断、早期対応に取り組んでいきたい。



デマンド交通システムの導入を

川畑一隆（公明党）

問 市民誰もが不便を感じずに移動できるようにするための交通手段の充実・強化策にデマンド（相乗り）交通システムがある。様々な協力機関を活用し、試行すべきと考えが見解を問う。

市長 既にコミュニティバスの経験を持っており、三者協議会をつくって、地域の団体の方、バスの事業者の方、市役所が入って協定をつくっ

ているわけですから、同じやり方で、一番ニーズのあるところからまず三者協議会をつくるべきだろうと思います。

問 授業についてこられない生徒の解消をめざし、一層の補習等の拡充を求める。教育長 補習学習の拡充は小中学校の学力向上を図る上で大変有効な方策であると考えていますのでさらに研究を深めて補習学習の実施を推進していきたいと考えています。



多摩方面の交通

山下つや（公明党）

問 図師・小山田・小山田桜台地区の多くの住民は、高校進学や都心部での就労など多くの点から、身近に鉄道利用ができる唐木田・多摩セン

ターへのバス便による交通アクセス向上を望んでいる。現状の改善策、そして将来計画の策定により、この地域の交通問題を改善すべき。

有金副市長 図師、小山田結ぶ広域的幹線道路などの整備を進め、新たな道路ネットワークを構築することが必要と考えています。その上で、バス路線網の拡充を図り、多摩市方面へのアクセスを向上させるなど、公共交通網の充実を図っていきます。



鶴川地域全域の住環境向上策を

森本せいや（民主党・社民・ネット）

問 鶴川駅南側の開発は、三輪地域の悲願である。また、駅北側の渋滞解消は、鶴川地域全体の住環境向上の要諦だ。

都市整備担当部長 南北の一体的な計画をつくらなければならぬというのがまず第一にあると思っています。

画法並びに宅地造成等規制法に基づき正命令を出しました。期限までに正計画書が出されませんでしたので催告書も出しています。毎日現地の安全を確認しているとともに法的手続も検討しています。

問 総合評価方式の評価点の「市との災害協定締結」は、業者間で著しい不公平がある。財務部長 適切な評価項目の設定について引き続き検討していきたいと考えています。



小田急線鶴川駅南口改札口の様子



磁気ループのさらなる普及を！

佐藤洋子（日本共産党）

問 聴覚障がい者の「聞こえの支援」のため、市の施設に磁気ループ普及を求める。地域福祉部長 他の設備とあわせて、優先度の高いものから順次整備していきたい。

問 ごみ資源化施設建設計画は、ていねいな住民説明を行い、住民合意の上ですめるべきではないか。循環型施設建設担当部長 地域住民の代表から成る地区

連絡会を町田リサイクルセンター周辺地区、相原地区で組織しており市民と協働で安全かつ安心な施設整備に向けた検討を行っているところです。

問 高齢者福祉センターのマッサージ事業制度継続を求めるがどうか。いきいき健康部長 高齢者の健康増進に有効かどうか等があり廃止に至った。障がい者の方については別途協議をしながら支援をしていきたい。



町田市議会本会議場の磁気ループシステム受信機



でレセプト医療費抑制を

おく栄（公明党）

問 先進的に導入している他市を参考に、レセプトデータを活用し糖尿病の重症化を防ぐように。

いきいき健康部長 他市の状況などを調査検討していきます。

問 市の歴史・文化など地域資源を発信しているロケ作品・ロケ地・ロケ地候補を市のホームページで掲載を。市長 ロケ候補地やロケ作

品のホームページでの紹介などできることについては早速取り組んでいき、地域の活性化や観光振興につなげていきます。

問 市民病院と地元産婦人科との連携を深めるべきだが、病院事業管理者 地域産科ネットワーク連携会にて、産婦人科医同士の情報を共有しているほか、市民にも当院情報誌を通じて情報を発信しています。